

# THE KOBECO

AUGUST No.316  
1987 8月刊神戸っ子

神戸っ子 昭和40年1月20日 第三種郵便物認可  
昭和62年8月1日印刷 通巻316号 昭和62年8月1日発行  
毎月1回1日発行





MID  
SUMMER

BENIYA

KOBE OSAKA TOKYO

目眩しいばかり、あなたの夏。  
あなたが主役 Mid Summer



KOBE • 本店 ☎ (078) 332-2135 • さんちか店 ☎ (078) 321-2678 • エルベ店 ☎ (078) 332-2829  
OSAKA • ナビオ店 ☎ (06) 316-1303~4 • 近鉄店 ☎ (06) 773-1117



かがやきが、囁きのように聞こえます。

宝石たちの新世界。

田崎真珠

ダイヤモンドインターナショナル賞受賞 ●イヤリング／ダイヤモンド、うるし、螺鈿／K18、Pt

●いろいろな特典のあるプラスワンカードの会員募集中です。●この広告のお問い合わせは田崎真珠㈱企画広報部(TEL 078-302-3321)まで。

# SANYO



リモコンとヘッドホンがひとつになった、サウンドリモコン

## 一緒に楽しいビデオAV

すっかりいい気分にさせてくれるサウンドリモコン。ビデオ初の本体にFMステレオトランスミッターを内蔵し、それをリモコンで受信。だから、モノラルTVがステレオHi-Fiに変身する。オーディオにつながなくとも凄い音で本格AVできる。(※FM電波受信はビデオ本体より7m範囲内です。) 中でガンガンに深夜AVときめ込める。こんなのが欲しいって切に思っちゃうね。■ VISS & VASS  
■ ローター転送予約 ■ フайнPCスロー。

ブラック SVH-F30 (K) 標準価格 140,000円(ヘッドホン別売)

人の手の中に  
ハイファイ



HIFI  
**MICONIC F30**  
サンヨーHI-FIビデオ

VHS マークのついたビデオには、VHS高画質技術が採用されています。なお、従来方式のVHSビデオとは互換性があります。録画・再生について●SVH-F30はVHS方式のビデオです。VHSマークのついたビデオテープ以外は使用できません。●3倍モードで録画したテープは標準モード専用のVHSビデオでは再生できません。※あなたがビデオで録画(録音)したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。●お預い—サンヨーホームビデオには保証書がついています。ご購入の際、ご購入年月日、販売店名などの所定事項の記入、及び記載内容をご確認のうえ、お受け取りになり大切に保存してください。

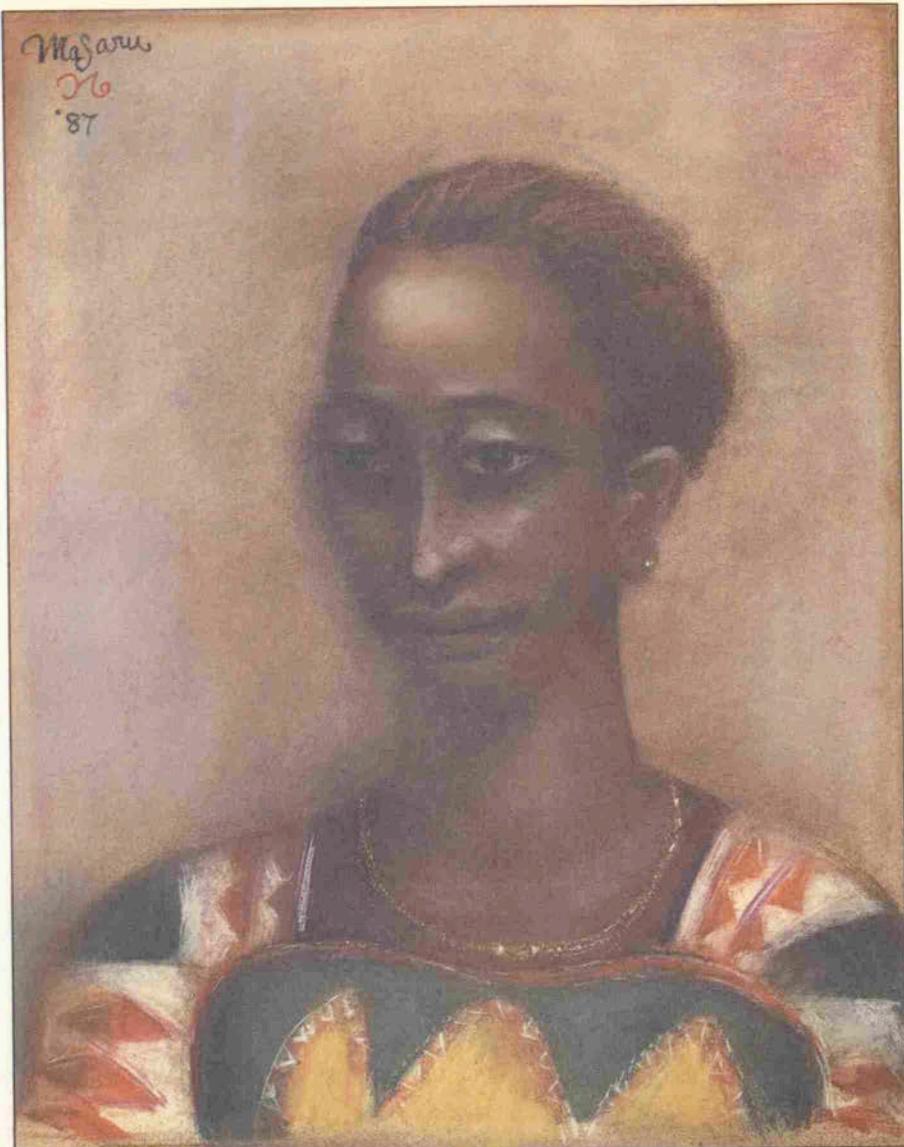
三洋電機株式会社

● Second Cover

“顔”シリーズ(8) エチオピアの貴婦人

パリのレストランでは時々、見なれない「美」に出会つてドキリとする?.

中西 勝 〈二紀会〉



新しい関西を創造する総合雑誌

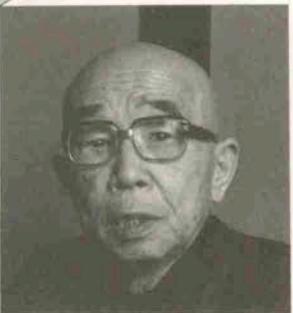
# オール関西

好評発売中￥580(年間購読)  
¥8,000) 8月号

# 特集 うまいもん関西

This image is a collage of several magazine covers from the late 1980s or early 1990s. The covers are arranged diagonally across the page. Top left: '特集 うまいもん関西' (Special Feature: Good Food in Kansai). Top right: '地における『隠れたうまいもん』を探ります。' (We will look for hidden good foods). Middle left: 'すばるプランジンボジウムより' (From the Super Plan Jingu Bojiumu). Middle right: '近畿国際文化圏の形成' (Formation of the Kinki International Cultural Circle). Bottom left: '世界歴史都市会議・博覧会' (World History City Conference and Expo). Bottom right: '創造の世界' (World of Creation), '人間性を拓け' (Expand Human Nature), and '人をインタビュー' (Interview with People). A small portrait of a man with glasses is visible on the far right.

★スターハイライト  
**八千草薫**  
(女優)



★ビッグインタビュー  
**辻 嘉一**  
(辻留主人)

■オール関西株式会社/〒530 大阪市北区曾根崎2丁目15-24 曾根崎ビル4F ☎06-363-1255

この秋。クイーンの  
こころ



Geimū

Total Image  
Fashion Coordinate  
Shop

K O B E - TOR ROAD  
PHONE. 078-331-5393

K O B E - SANTIKA CASUAL COURT  
PHONE. 078-321-0150

TOKYO - SEIBU-SHINJUKU PEPE 5F	PHONE. 03-205-1525
TOKYO - KICHIJOJI REMOLE 1F	PHONE. 0422-21-1139
NAGOYA - YUNI MOLE	PHONE. 052-586-1770
NAGOYA - SAKAE PETIT MELSA	PHONE. 052-951-2835
NAGOYA - CENTRAL PARK	PHONE. 052-971-0300



ベジタブルな関係をキープするには  
時にはクールな装いも必要です。

Tajima  
宝飾店 タジマ

元町2丁目 TEL 331-5761代表

## 美貌に加えての知性

簡 美和

(代表バールプリンセス) カメラ・池田年夫

今年で7回目を迎える「バールプリンセス」。その最終審査会が6月16日、ポートアイランドにある神戸国際交流会館メインホールで行われた。全国1636名の応募者の中から代表バールプリンセスに選ばれたのが簡美和さん。名前からも分かる通り、本籍は中国にある、在日華僑の一人である。だが、御両親も本人も神戸生まれの神戸育ちという「神戸つ子」でもある。

今年、関西学院大学文学部英文学科を卒業。中央区の旧居留地内にある商事会社の開発部に勤めている。会社では得意の英語を生かして、海外商品のパンフレットを解説したり、輸入商品の解説書の翻訳を行ったりしている。「中学生の頃から英会話を学んできましたけれど、さらに勉強して、もっともっと上手くなりたいです」と語る。外見も話方も、実年齢以上に落ち着いて見えるが、実際は、バスケットボールや水泳で汗を流すのが好きな活動派とか。将来の夢は?と聞くと「日本語に関心がありますので、日本語講師になつてみたいと思っています」また「生きている内に出来るだけ多くの国々を回つて、色んな人に出会いたいです」と言う。美貌に加えての知性。その夢が叶うのも、そう遠い将来ではないだろう。昭和40年3月16日生まれ。中央区在住。

(ポートアイランドにて)



# 演劇一筋に30年

須永克彦

(役者・演出家) カメラ・池田年夫

「人生は、楽しいばかりでは生きて行けないんだな。と観た人が考えてくれたら、しめたもんです」と語るのが須永克彦さん。神戸で長年に渡り、地道な活動を続けてきた演劇集団『道化座』の役者兼演出家である。13年前に、「一人芝居 カンカン人生」(作・東淵修)に出会い、その作品の持つ深さに感動、道化座の活動と平行して、折りを見ては演じ続けて来た。春に行われた「神戸開港120年祭」でも演じ、それを観た中国の中国戲劇家協会の関係者が「ぜひ我が国でも上演を」と要請。それを受け、10月5日から18日まで、北京・天津・南京・蘇州・上海の内4カ所で公演することになった。中国には、このような形での一人芝居は無く、須永さんの芝居の観客は、戯劇家協会の関係者ばかりであるとか。

「道化座も、何とか一ヶ月に一本の芝居をし続け、地元に定着してきたのではないでしようか。しかし、ある程度の人間を収容して芝居の出来る小屋が、神戸市内に一つしかないというのは大問題です。これでは、とても文化都市とは呼べませんよ」また「楽しい芝居もいいのですが、時には、若い人も、自分の生き方を見直すような芝居も観て欲しいのです」と語る。30年間、演劇一筋に生きてきた須永さんの「カンカン人生」(中国題/独角劇 我這一輩子)は、中国でも話題になることは間違いないだろう。

(近鉄小劇場にて)





オープニングには宮崎神戸市長やロイヤーシアトル市長らが出席。21世紀の“生きざま水族園”は波の大水槽やラッコ館、ピラニアトンネルのある魚ライブ劇場など魅力あふれる内容。

## ★21世紀の“生きざま水族園” スケール大きくオープン

●コウベスナップ



神戸開港120年記念事業として海洋博物館に続き7月16日、新しく変身した須磨海浜水族園がオープンした。開園式には宮崎神戸市長をはじめシアトルからはチャールズ・ロイヤー市長とシェリー・シェン水族館長も出席。国際色あふれるオープニングとなった。「国際観光都市の拠点としての役割と子供たちに夢や知識を与える場としての役割に期待している」との宮崎市長のあいさつの後、ロイヤー市長から、同園の水族一種と交換され今秋お目見えするラッコの“チャーリー”的紹介も。保育園児からロイヤー市長とシェン水族館長への花束贈呈に続き、間口25m、奥行15m、高さ4mという世界最初の波の大水槽の除幕となり、「生きざま水族園」の開園を祝った。

# 螺線館

## 新しい言葉と 劇的なるものの為に

嶋田三朗

一九七八年九月、創立した劇団螺線館（代表嶋田三朗）は、同時代演劇をめざす若き演劇専門劇団です。演劇嫌いや演劇好きや、あらゆる分野の専門家が集合して、互いの知と感をかけてゆつくりと総合され創られる劇が一番新しいと思います。今こそ人間の速度をつかまえたいのです。それともう一つ、私達の肉体を通して新しい演劇語をつくりたいのです。

現在、取組んでいる作品は、宮沢賢治原作・劇団螺線館台本、「セロ弾きのゴーシュ」です。

人間の進歩と、失われつつある野性についての物語りです。

又、秋には、昨年より10年連続上演企画しました近松門左衛門の作品を上演します。去年、工場の中に芝居小屋を創つて上演しました「近松あと追い心中」は、大好評のうち17日間の幕をおろしました。今年も、10月に尼崎で、「お夏清十郎五十年忌歌念仮」上演いたします。その後、姫路、大阪と移動公演予定です。

## ある集い□劇団螺線館



■連絡先

劇団螺線館

尼崎市杭瀬北新町三一二一四七七  
（06）（488）9215



## ある集い□ALA DI KOBE

「おばあちゃんにも分かる  
オペラ」づくりに挑む  
**濱崎加代子**

オペラ・グループ ALA DI KOBEが結成されて七年目を迎えます。その間、神戸文化ホールを中心三回のオペラ自主公演や、ユニークな企画のコンサートなど、メンバーの創意工夫で、若さ溢れる舞台作りに励んできました。とかく、「オペラは難しい」「言葉も分からなくて面白くない」と思われがちです。でも、「そんなはずはない、歌はジャンルを越えて、全ての人の心に届く共通語だ。」と思うのです。一度試しに、私たちのオペラを覗いて見てください。今や、クラシック音楽は、テレビのCMにも多用される時代です。心洗われる素敵なものデイーを耳にする機会も多くなりました。私たちは、そんな素敵なお歌たちをナマのステージにより身近に楽しんでいただきたいのです。

おばあちゃんにも分かるオペラづくりをめざす私たちは今、作曲家林光氏のオペラに取り組んでいます。十一月十三日・十四日には、神戸文化ホールで、オペラ「スカラトをはいたジャンヌ」を公演します。林光氏の新作初演。役者さんの応援も得て、全く新しいスタイルのオペラが出来そうです。乞うご期待!

ALAはイタリア語で「翼」の意味。神戸でオペラの輪が広がつていくことを願い、羽ばたき続けた私たちです。

# 神戸のお嬢さん 〈51〉

優しい笑顔は

可憐な野菊のよう

吉田 晃子さん

〈吉田歯科医院院長  
吉田欣也氏長女〉



カメラ・池田年夫

推薦者／大西節子

大丸ジバンシーラウンジ  
チーフデザイナー

初めてお会いした時から10年の知己を感じさせておられるお嬢さん。慶應義塾大学卒業後、フランスのソルボンヌ大学へ留学。今年1月末、ジバンシー社の出張でパリへ出向いた私は、幸いにもこの時、じつくりお会いする機会を得ました。私のホテルの部屋にいつも、一通の手紙を添えて美しいチューリップの花が届けられる。お嬢さんの優しさに触れた最初でした。彼女の笑顔は、静かに口元から目元へと移動する。花にたとえれば野菊の可憐さであろうか。(大丸ジバンシーラウンジ  
チーフデザイナー)  
熱心な歌舞伎ファンでもあり、80歳を迎える今なお教育者でいらっしゃるおばあさまと語られる歌舞伎評は、まさしく「歌舞伎研究家」である。又、大のケンゾーファンでもある。それについても、私は早くこのお嬢さんのウエディングドレスをデザインしたいものだ。私は早くこのお嬢さんのウエディングドレスをデザ



# 神戸のお嬢さん〈52〉

六甲の緑と浜風の中で  
明るくさわやかに

松谷友恵さん  
〈松谷海苔(株)代表取締役  
松谷友一氏次女〉

六甲連山に見守られ、明るくさわやかな浜  
風に吹かれて育った友恵さん。  
神戸商工会議所にお勤めのかたわら、お茶  
お花のお稽古にも熱心に通われ、休日には、  
腕をふるつてお料理もなさる家庭的なお嬢さ  
ん。そのうえ、子供好きとていてるから、お推薦者／小林万里子  
姉さんのお子さんたちが、友恵さんにまつわ  
りついて離さないとか。温かい家庭、お優しいご両親の許で、若さ  
いっぱいに生きておられる友恵さん。一日も早く花嫁姿が見たいも  
の。

カメラ・米田定蔵



新しきクリエーター

# 美の小箱 田嶋悦子

文・乾 由明 （美術評論家）

田嶋悦子さんは大阪芸大で柳原睦夫氏について陶芸を学んだが、その作品は、普通に考えられる焼きものとはまるで違つたものである。赤、黄、緑などの原色を中心としたけばけばしい色調、植物のように曲りくねつたフォルムや突起物のくつついた奇妙な柱、作品全体をつうじて感じられるあけっぱなしの開放感——こういうさまざまな特色は、従来の陶芸、とくに日本の陶芸には、まったく見られない性質である。私が田嶋さんの仕事にはじめて接したのは三年ほど前であるが、技術的には未熟なところが眼についたにもかかわらず、そのいわば反・陶芸的な野放図で鮮烈な仕事に、圧倒されるようなつよい刺激をうけた。その後彼女は着実に研究をかさね、技術もずいぶん巧くなつてきていた。しかし作品の鮮やかな感覚的性質は、すこしもかわることなく、むしろ一層豊かに発展しているようだ。このようなけばばしい原色と柔い有機的な形状の焼きものは、近年、陶芸界に目立つてきた新しい現象である。田嶋さんは、そういう陶芸のニュー・トレンドを代表する有能な作家だ。たしかに彼女の仕事は、伝統的な焼きものとは異質であるが、しかしその作品が、土で成形し火で焼くという陶芸固有の材料と技法でなければ、創り得ないことも事実である。しかも一見野放図に見えながら、作品のすみすみまで女性らしい繊細な神経がゆきとどいている。昨年私は、アメリカで日本の現代陶芸の新しい傾向について、スライドを使って講演をしたが、そのとき多くの聴衆がもつとも興味をしめしたのは、田嶋さんの作品であった。



HIP ISLAND 1987年  
田嶋 悅子



- 1959年 大阪に生まれる
- 1981年 大阪芸術大学工芸科陶芸専攻卒業  
陶6人展、ギャラリー白、大阪
- 1982年 第20回朝日陶芸展（入選）  
朝日現代クラフト展（入選）
- 1984年 ローズガーデン美術展（入選）
- 1985年 TO展、大阪府立現代美術センター
- 1986年 ヌーベルバーグ in つかしん  
トランス・アート・シーン、ギャラリー16
- 1987年 アート・ナウ、兵庫県立近代美術館  
87美術選抜展、京都市美術館